

# 米山奨学生終了者歡送会

米山奨学委員会

委員 榊原 春枝  
(大阪柏原RC)

日 時：2011年2月27日(日)  
場 所：ハイアットリージェンシー大阪  
参 加 者：松本G、岡部GE、近藤PG、磯田委員長、  
米山各委員、大学指導教官、学友会、  
各クラブ会長幹事、カウンセラー  
計94名

2011年2月27日(日)、ハイアットリージェンシー大阪において2010-2011年度「米山奨学委員会 米山奨学生歡送会」が開催されました。

はじめに松本Gが「一人ひとりの夢が将来たくさん花開くことを楽しみにしています。そしてたくさんの人たちに“ありがとう”と言ってもらえる人になってください」とお祝いの言葉を述べられました。

次に近藤PGがカウンセラーへのお礼の言葉とともに、新しい生活に向かって巣立っていく留学生への励ましの言葉を贈られました。母国だけではなく、世界のどこへ行っても架け橋になってほしい。どこの国へ行っても最高の奉仕活動をしてほしい、という言葉が印象に残りました。会場で知り合ったベトナムの留学生は、これからすぐアメリカへ行く予定だと話していました。

母国に帰らず日本で就職する人、また違う国へと旅立つ人。いろいろだと思いますが、磯田郁子委員長が言われたように、これからもロータリーとの「縁」を大切に、米山奨学生だったことを人生の誇り、自信にして人生を歩いてほしいと、米山奨学委員一同願っています。

和やかな歓談食事が続く中で、今年度奨学生を終了する留学生の皆様松本Gより修了証書と記念品が手渡され、また去る2月19日(土)に大阪国際交流センターで行われた「第一回米山奨学生スピーチコンテスト」で最優秀賞に輝いた中国からの留学生、刘璐(リュウロ)さん

(大阪御堂筋RC)のスピーチも行われました。刘璐さんは6年前に来日し、日本の言葉はわかるようになったが、それだけでは理解できない異文化理解の難しさをスピーチしてくれました。「違いばかりに目を向けていては真の異文化理解はできない。心を開いて異なる文化にぶつかってみましょう」という言葉が、流暢な日本語とともに素晴らしかったです。

今年の終了式でも、カウンセラーをしていただいたロータリアンと奨学生の交流、ロータリーへの感謝の気持ちがたくさん述べられました。米山奨学生であったことを忘れず、今後もロータリーとの縁が末永く続くことを願っています。

最後に、今年度奨学生をお世話いただきましたカウンセラーをはじめ、世話クラブの皆様深く感謝申し上げます。

